

地域の経済動向（令和4年1～3月期） 《オホーツク地域》

1 経済動向に係る企業等の声（1～3月期）

【建設業】

- ・国内需要喚起、公共事業の予算増額を期待。（一般土木建築工事業）

【製造業】

【卸売・小売業】

- ・建設資材を扱っているが、3月・4月に昨年に引き続いて値上げの連絡が来ており、販売価格に転換する予定だが、全てのお客様に納得して頂くのには苦労しそう。（建設資材卸売業）

【運輸業】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、以前の売り上げが確保できず月次での赤字が続いている。（一般乗用旅客自動車運送業）








【サービス業】

- ・事業の継続、継承が課題。（自動車整備業）

【関係機関・団体】

- ・木材価格の高騰がいまだに続いており、経営上の問題となっている（製造業）
- ・直接赤潮の影響は受けなかったが、被害のあった太平洋側地域の事業者からの買い付けが増え、魚の単価は2割程度上昇した。（卸売市場関係者）
- ・巣ごもり需要による個人向けの通販事業、ふるさと納税の消費が伸び、取扱金額が増加した。具体的な品目は、サケ・イクラ・カニ・ホタテなど。（卸売市場関係者）
- ・冬ギフトはますます好調。刺身セットなどが売れた一方で、一夜干しは売れなかった。（水産加工業）
- ・原油高の影響もあり、配送コストが上昇している。トラックを使わず、営業車に載せるなど燃料費を削減するため工夫している。（卸売市場関係者）
- ・コロナ禍で観光客が減少しているため、土産物店やレストランでの売上が減少。（水産加工業）
- ・水産資源の枯渇及び採れる魚種の変化に伴う原料の高騰が課題。（水産加工業）
- ・大規模な宴会の開催は引き続き敬遠されているほか、食材の価格が上昇しており、コストが増加している。（飲食サービス業）
- ・飲食・宿泊業は依然コロナの影響で苦しんでいるが、現状資金繰りの相談が多いわけではない。来年4-5月頃に、コロナ融資を受けて3年が経過することから、引き続き企業の業況を注視し、企業実態に併せた支援をする必要がある。（信用金庫）
- ・コロナ禍で疲弊している企業は依然多いが、内部留保の高い優良な企業が多く、融資等の償還に困窮する企業は少ないという印象。（商工会議所）
- ・約25年前まで地区内に7カ所の宿泊施設があったが、新型コロナウイルスの流行による経営難により地区内で営業する宿泊施設は1カ所のみとなっている。（観光協会）
- ・コロナ禍で先行きが見えず、企業努力だけではまかないきれない状況が続いており、継続した宿泊助成策といった行政支援を求める声もあがっている。（市）

































2 道内金融機関から見た地域景況感 (1～3月期)

| | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|---|
| ③ 非常に好調  | ② 好調  | ③ やや好調  | ④ 普通  | ⑤ やや低調  | ⑥ 低調  | ⑦ 非常に低調  |
|---|--|--|--|--|--|---|

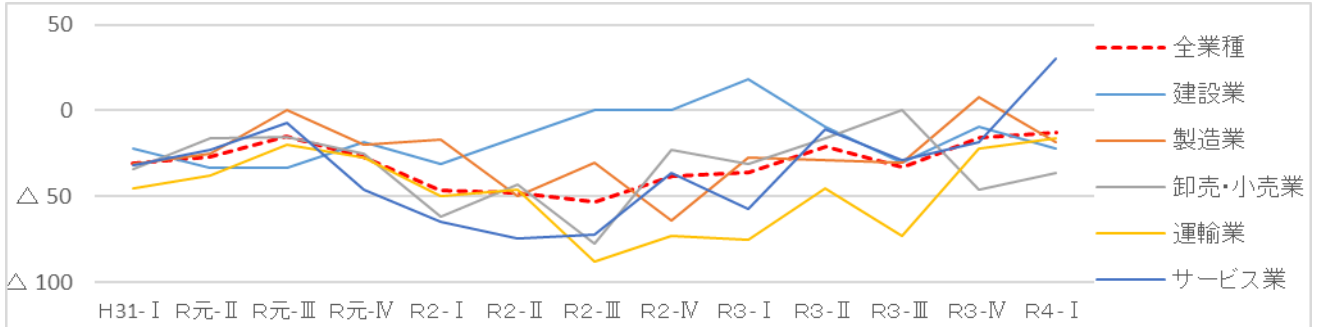
【直近の景況感】

| | 現在の景況感 | | | | 次期見通し | |
|------------------|---|---|---|---|---|--|
| | 総合 | 生産 動向 | 消費 動向 | 判断理由 | 方向感 | 判断理由 |
| 網走信用金庫 |  |  |  | 当金庫で行った業況調査の結果、製造業・建設業ともに業況判断 DI が前回調査に比べ落ち込んでおり、生産動向を「低調」と判断した。卸売・小売業、サービス業の DI も大幅に落ち込んでおり、消費動向を「非常に低調」とし、総合的な景況観も「非常に低調」と判断した。 |  | 3ヶ月後の業況見通しについて、全業種で DI がマイナスではあるものの、1～3月期の DI と比較するとやや高い数値であり、次期の景況見通しは「変わらない」と判断した。 |
| 遠軽信用金庫 |  |  |  | 生産動向の景況感については、前年同期と比較すると、すべての業種で収益が減少し、厳しい状況が続いていることから、「やや低調」(前回調査時: やや低調)と判断した。 消費動向の景況感については、前回調査時と比べ、「卸売業・小売業」の業況判断 DI が改善傾向にあるものの、依然として厳しい状況にあることから、「やや低調」(前回調査時: やや低調)と判断した。 一部の業種で消費動向に改善が見られたものの、前回調査時と比較すると業況は変わらず、調査員の聞き取りでは、どの業種も新型コロナウイルスの影響により、業況は厳しいとのことから、遠軽地方の総合的な景況感、前回調査時同様の「やや低調」と判断した。 |  | 4～6月期の景況見通しについては、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しがたらず、多くの企業が先行き不透明で、業況の回復に時間を要すると考えられることから、時期の景況見通しは「変わらない」と判断した。 |
| 北見信用金庫 (北見地区) |  |  |  | 当金庫の景気動向調査によると、前年同期と比較した売上 DI は△30 となり、収益 DI は△34 となった。前回調査時(3ヶ月前)から売上 DI は7ポイント、収益 DI も8ポイント悪化した。依然として DI はともにマイナスであり、景気が悪いと捉えている企業が多く存在している。 |  | 当金庫の景気動向調査によると、今後3ヶ月の見通しでは、売上 DI、収益 DI ともに改善する見通しとなっている。 |
| 北見信用金庫 (紋別地区) |  |  |  | 基幹産業である水産関連業者が閑散期であるため、水産関連企業の生産動向は低調に推移している。流水接岸による観光客増加が見込まれている時期ではあるが、新型コロナの影響から低調に推移している。また、飲食店街においても「まん延防止等重点措置期間」であり、閉店している店舗が散見された。 |  | 例年は春先よりホタテを始め水産関係が稼働することから、生産動向は上向きとなる。更にまん延防止等重点措置が解除となったこともあり、経済活動の活発化が予想されることから、「上昇傾向」と判断した。 |

【景況感の推移】

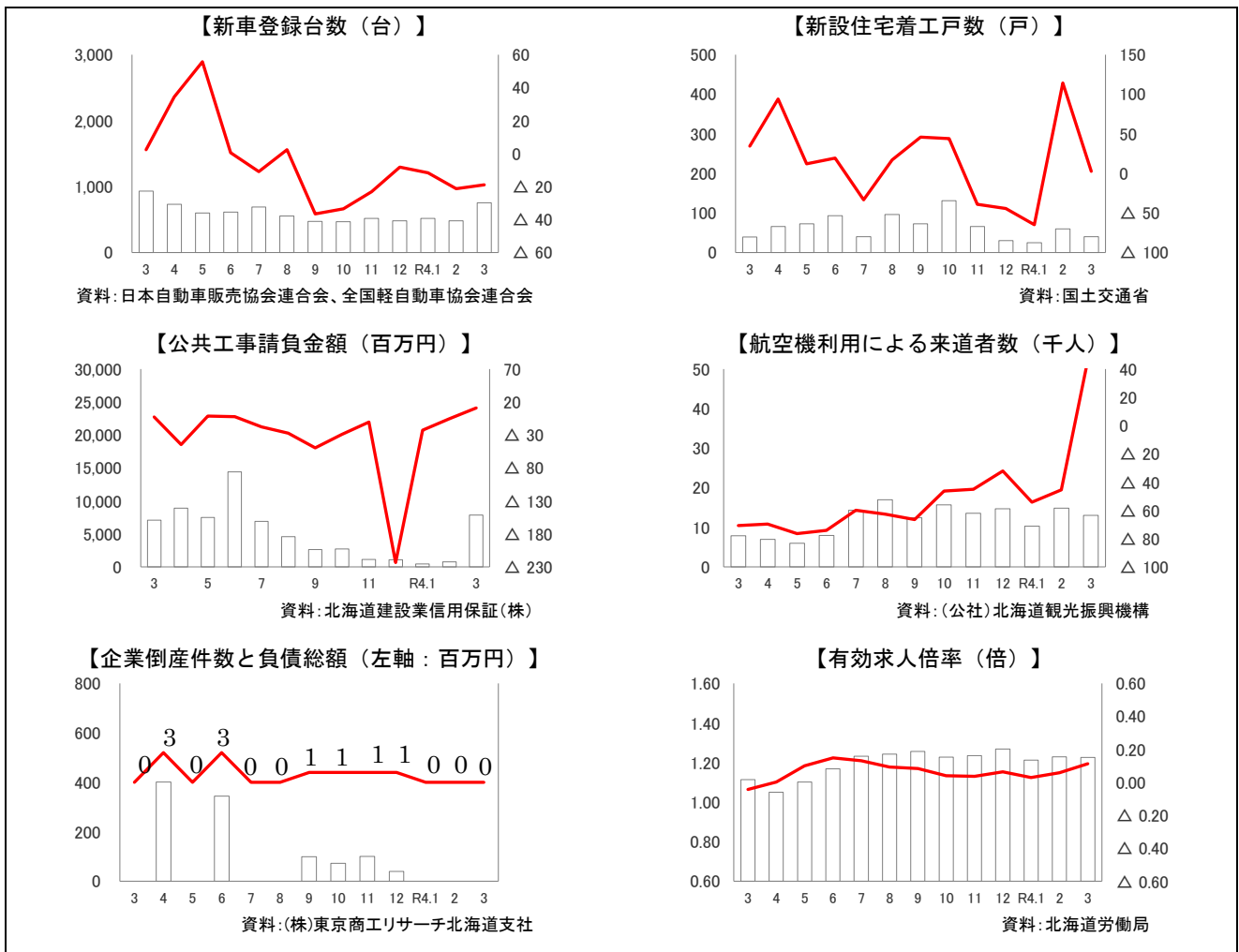
| | R2-Ⅱ | R2-Ⅲ | R2-Ⅳ | R3-Ⅰ | R3-Ⅱ | R3-Ⅲ | R3-Ⅳ | R4-Ⅰ |
|------------------|---|---|---|---|--|---|---|---|
| 網走信用金庫 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 遠軽信用金庫 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 北見信用金庫 (北見地区) |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 北見信用金庫 (紋別地区) |  |  |  |  |  |  |  |  |

3 業種別の業況感BSI (企業経営者意識調査)



| | H31-I | R元-II | R元-III | R元-IV | R2-I | R2-II | R2-III | R2-IV | R3-I | R3-II | R3-III | R3-IV | R4-I |
|--------|-------|-------|--------|-------|------|-------|--------|-------|------|-------|--------|-------|------|
| 全業種 | △ 31 | △ 27 | △ 15 | △ 27 | △ 46 | △ 48 | △ 53 | △ 38 | △ 36 | △ 21 | △ 33 | △ 16 | △ 13 |
| 建設業 | △ 22 | △ 33 | △ 33 | △ 18 | △ 31 | △ 15 | 0 | 0 | 18 | △ 9 | △ 30 | △ 9 | △ 22 |
| 製造業 | △ 31 | △ 25 | 0 | △ 20 | △ 17 | △ 50 | △ 30 | △ 64 | △ 27 | △ 29 | △ 30 | 8 | △ 18 |
| 卸売・小売業 | △ 34 | △ 16 | △ 15 | △ 25 | △ 62 | △ 43 | △ 77 | △ 23 | △ 31 | △ 16 | 0 | △ 46 | △ 36 |
| 運輸業 | △ 45 | △ 38 | △ 20 | △ 27 | △ 50 | △ 46 | △ 88 | △ 73 | △ 75 | △ 45 | △ 73 | △ 22 | △ 16 |
| サービス業 | △ 32 | △ 23 | △ 7 | △ 46 | △ 65 | △ 74 | △ 72 | △ 36 | △ 57 | △ 11 | △ 29 | △ 18 | 30 |

4 各種経済指標



(右軸：来道者数のみ前々年同月比、その他は前年同月比(差)：%)